

HU-DiA

vol. **21**

Jun. 2012

2012年度 主要事業の紹介 2011年度 主要活動実績



ヒューマンメディア財団の紹介

ヒューマンメディア財団(正式名称:公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センター)は、情報通信技術(ICT)とマルチメディア技術の融合した技術である「ヒューマンメディア」を創造し、既存産業の高度化や新産業の創出を図り、地域経済社会の発展に貢献することを目的として設立された法人です。

北九州市の外郭団体でもある本財団は、平成8年4月の設立以来、北九州市と連携しながら、これまで様々な事業を実施し、地域産業の振興に取り組んでまいりましたが、国の公益法人制度改革に伴い、平成24年3月23日に内閣総理大臣から公益認定を受け、同4月1日をもって「公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センター」として新たにスタートしました。

当財団は、ヒューマンメディアの利活用により、地域の資源やエネルギーの節減、地域産業の活性化の推進、地域住民の生活の利便性の向上を目的とする3つのビジョン、「デジタルエコ社会」、「デジタル成長社会」、「デジタル利便社会」の実現を目指しています。

この3つのビジョンの実現のために、事業領域の選択と集中を進め、「I 先進的なICT戦略の提言」、「II 地域ICT基盤の整備・活用による地域活性化」、「III 地域課題に対応したICTプロジェクトの提案・推進」、「IV 高度なICT人材を育成するプログラムの提供」、という4つの分野に重点的に取り組むこととしております。事業運営に当たっては、効率的かつ機動的な体制を整えるとともに、産業界や学術研究団体等とのネットワーク・協業を通して、ビジョンの実現を進めてまいります。



施設の紹介

●メディアインキュベート入居案内

AIMビル7Fにあるエムサイトは、地域のメディアコンテンツ産業の育成・活性化を目指して、メディアコンテンツ系ベンチャー企業の創業を支援するためインキュベーションオフィススペースを提供しています。

入居対象はマルチメディア関連・情報関連分野で新たなビジネスを展開しようとする個人または創業5年未満のベンチャー企業です。新幹線小倉駅より徒歩7分という利便性に恵まれ、西日本総合展示場・北九州国際会議場などのコンベンションゾーンに立地しています。

同じエムサイト内には、映像編集室・レコーディングスタジオ・セミナー室などのメディアクリエーションに必要な設備が揃っており、入居者はこれらの設備を低廉な価格で利用することができます。また入居企業間のクリエイティブな連携も期待できるなど、メディア系の起業を計画している方にとって、エムサイトは魅力的な施設となっています。



●HMCビル貸室案内

当財団では、高品質な設備環境を備えた多目的ホール「マルチメディアホール」と小・中規模の会議等に使いやすい「セミナールーム」を完備しております。

	マルチメディアホール(1階)		セミナールーム1(2階)		セミナールーム2(2階)			
広さ	239㎡ 3人掛け・スクール形式[最大105席]またはシアター形式(椅子のみ)[最大150席]		52㎡ 2人掛け・スクール形式[最大18席]		50㎡ 2人掛け・スクール形式[最大18席]			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・大型スクリーン採用(150・170インチ・サイズ変換式) ・高品質のDLPプロジェクター採用 ・音響設備(ドルビーデジタル、DTS、THXなどの7.1サラウンド音響システムを使用可能) ・インターネット利用可能。光回線使用で高速通信が可能 		<ul style="list-style-type: none"> ・小・中規模会議に使いやすい「機能的な場」を提供 ・セミナールーム1と2は連動しており、2室を1室として利用可能 ・円卓形式の配置も可能 ・DVD/VHS/CDが利用可能 *注意1 ・インターネット利用可能。光回線使用で高速通信が可能 *注意1 *注意1・・・セミナールーム2のみ利用の場合は利用不可 					
利用例	講演会、セミナー、発表会、展示会、音楽会、懇親会、パーティ等お客様のニーズに対応した各種イベント・レイアウトが可能		様々な小・中規模の会議、討論会、役員会、面接会場など、お客様のニーズに対応したレイアウトが可能					
利用料金 [税込]	一般	賛助会員等	一般	賛助会員等	一般	賛助会員等		
	8,820円/1時間	4,410円/1時間	1,890円/1時間	945円/1時間	1,890円/1時間	945円/1時間		
	セミナールーム1・2連動							
	一般			賛助会員等				
			3,780円/1時間			1,890円/1時間		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・マイク、パソコン、ホワイトボードの貸出(無料) ・オペレーターを必要とする場合は、別途オペレーター料(21,000円[税込]/1日)を加算 							

◆ヒューマンメディア財団 施設ご利用受付[受付時間: 9:00~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)]

TEL 093-663-1235 FAX 093-663-1289

*施設の予約や空き状況確認はインターネット利用が便利です。< <http://www.human-media.or.jp/foundation/facility.html> >

● 地域ICT基盤の整備・活用による地域活性化

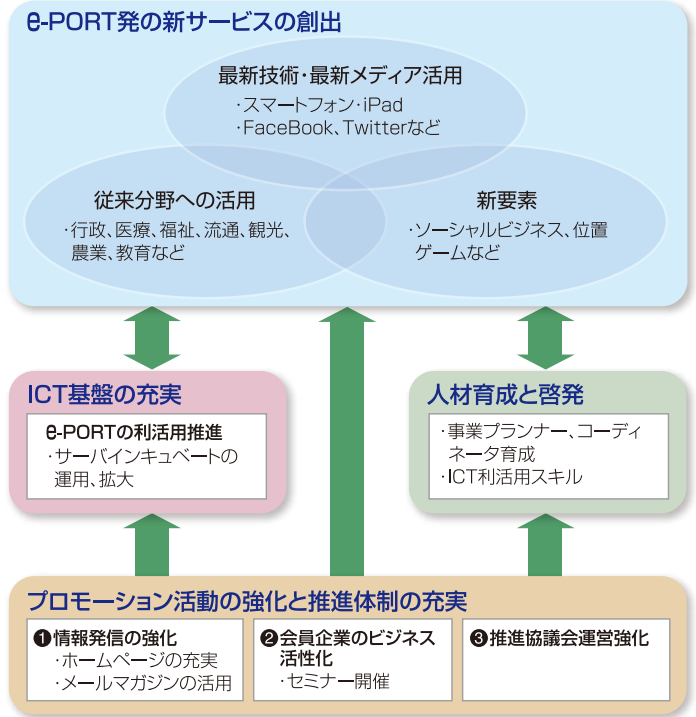
▶ 北九州e-PORT構想(フェーズⅢ)の推進

e-PORT構想の推進母体である「北九州e-PORT推進協議会」では、平成23年度から平成26年度の4年間をフェーズⅢと設定し、「ICT基盤の充実」、「e-PORT発の新サービス創出」、「ICT活用のための人材育成と啓発活動」、「プロモーション活動の強化と推進体制の充実」の4つを主要テーマとして推進しています。

具体的には、中小事業者のIT活用を促進する「サーバインキュベーター事業」を拡大推進するとともに、新たなサービスの基盤となる「位置情報プラットフォーム」を構築し地域活性化を進めていきます。また、中小製造業向けに販路拡大を図る「eコマース活用セミナー」や、企業等のBCP(事業継続計画)・DR(災害などによる被害からの回復・予防措置)の拠点として北九州e-PORT利活用を推進する「北九州e-PORT発!BCPセミナー」を開催し、ホームページ・メールマガジンの内容充実と併せ、プロモーションの強化を進めています。

これらのサービス基盤やプロモーション活動により、地域課題の解決を図るソーシャルサービス等の新サービス創成を目指します。

■ e-PORT構想フェーズⅢプラン

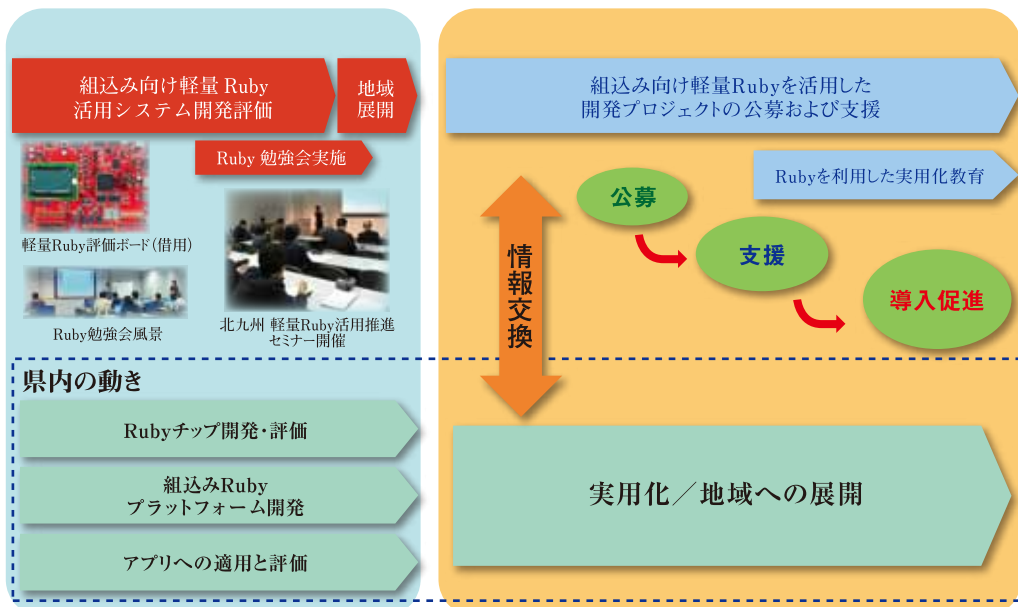


● 高度なICT人材を育成するプログラムの提供

▶ 組み込み向けRubyによる地域産業活性化事業

開発期間の短期化と機能の高度化への対応が容易とされているRubyの市内企業への導入を推進し、地域産業の新分野への進出を支援します。

また、RBC(Ruby Business commons)が主催する北九州市内での勉強会の支援を継続していきます。



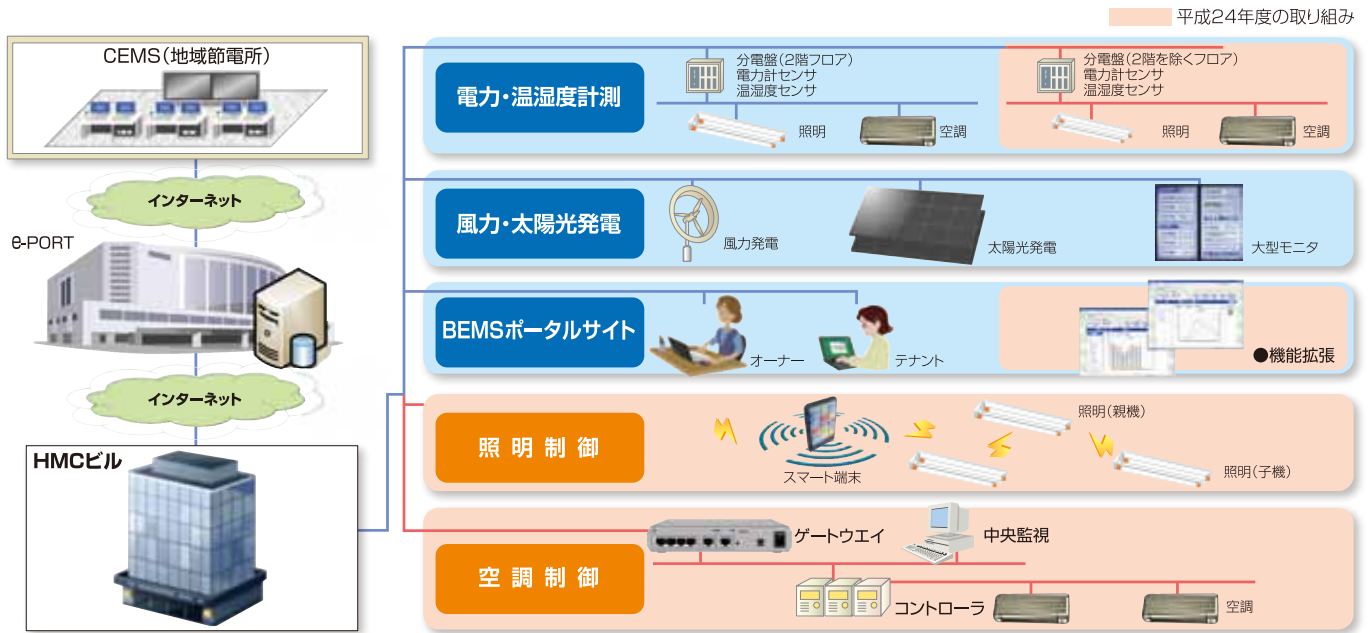
● 地域課題に対応したICTプロジェクトの提案・推進

▶ スマートオフィス化実証事業(CEMS連携、空調、照明制御)

当財団のビジョンの一つである「デジタルエコ社会」の実現に向けて、平成22年度から5カ年をかけて当財団ビルにBEMSを導入して、テナントと共に節電行動を推進し、最終的には二酸化炭素排出量を一般的なオフィスビルに比べ50%削減するとともに、地域に密着した新サービスモデルの構築を実施します。

平成24年度も、経済産業省の「次世代エネルギー・社会システム実証事業補助金」に継続で採択され、全館にセンサーを設置してビル利用者の快適性を損なわずに省エネに貢献できるオフィス空間の提供を目指します。

また、新たなサービスとして、天候による外光量の変化から最適なオフィスの照度を算出するインテリジェントなCCFL照明システムの実証や、空調を自動制御するためにBA(中央監視)との連携実証等、BEMSの高度化に向けた技術仕様の検証・新たなサービスモデル・ビジネスモデルを検討していきます。

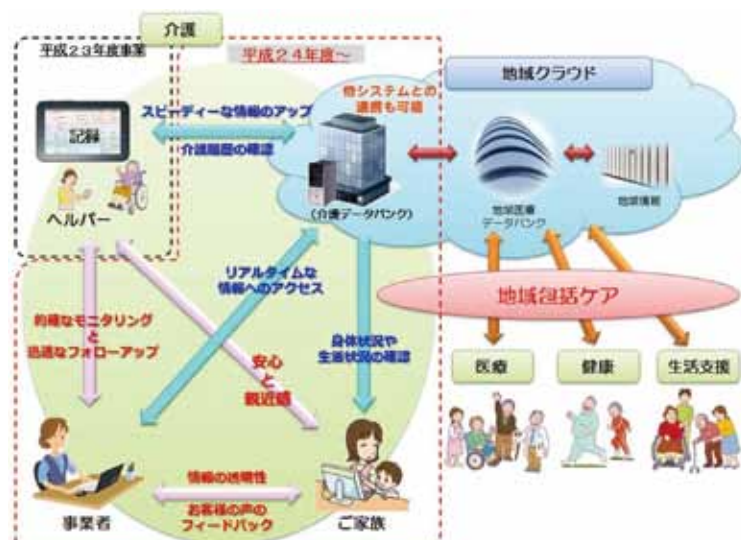


▶ 介護分野におけるICT活用事業

ICTの利活用により介護現場の負担軽減並びに情報共有を実現し、安全・安心で、かつ快適な福祉社会の実現を目指します。

平成23年度の「情報入力支援システムを搭載したヘルパー向け介護サービス提供記録システム」の構築および実証実験の成果を踏まえて、事業所内での情報共有を図る本部システムや、利用者家族へ情報提供する見守りシステムを構築し、市内の介護事業所へ試験導入を図ります。

また、展示会などへ成果を出展し、地域への展開を図るとともに、市内企業のビジネス拡大・参入を促進していきます。



● 地域課題に対応したICTプロジェクトの提案・推進

▶ 農業分野におけるICT活用

北九州市は高齢者人口比率(65歳以上)が24.6%と政令指定都市の中で最も多く、高齢化が深刻な問題となっています。一方、日本の農業分野でも農業従事者の世代交代が進まず、65歳以上の農業者数は6割を超えており、北九州市においても農業分野の人的な基盤が極度に弱体化している状況です。

当財団では、ビジョンの一つである「デジタル利便社会」の実現に向け、農業法人を対象にICTを活用して利便性を向上させ、新規就農者等の雇用創出や地域社会への貢献を目的とした取り組みを推進しています。

平成23年度は、農業法人を対象にした具体的な実証サービスのプロトタイプ構築に取り組みました。

■ 出荷/売上管理システムの構築

農産物流通事業者向け管理業務負荷軽減のためのWeb&タブレットアプリ



■ ITに精通していない人でも運用可能なホームページの構築

農業従事者自身で簡単に運用ができる農産物Webショップ



▶ ユビキタスマール新サービス創出支援事業

《北九州ICTインテリジェントエリア実験(PBL)の実施》

九州工業大学のプロジェクト体験型カリキュラム(PBL)との連携により、魚町商店街のICT基盤を活用した新サービスの検討及び実証実験に取り組みました。新サービスの内容検討、システム設計・構築、実験実施までを学生の主体的な活動により行いました。

新サービスとしては、モバイル機器の画面上でクイズとビンゴを組み合わせたゲームを行う「クイズ de BINGYO!!」を提案し、SNSやAR(拡張現実)とも連携させ、商店街の回遊性と店舗等の認知度向上に貢献しました。

(PBL= Project based learning)



● 地域ICT基盤の整備・活用による地域活性化

▶ e-PORT(位置情報)

e-PORTフェーズⅢプランに掲げた重点市場の一つである「位置情報ゲーム」に関する検討を踏えて、位置情報を利用するアプリケーションの共通基盤として、携帯型端末から利用が可能な位置情報プラットフォーム「ナビっちゃ北九州」の構築を行いました。このプラットフォームの構築に合わせて、デモ用のアプリケーションを構築し、今後、このデモ用アプリを活用し、イベント、商店街振興等の各方面に積極的に利用促進を行っていく予定です。



高度なICT人材を育成するサービスの提供

▶ IT大学校他

ビジネスに直結する実務能力の向上を目的に、北九州地域の情報サービス企業の中核を担う中堅社員を対象として、IT大学校を開催し、全コース合わせて57名の方が受講しました。また、IT系企業上級管理職の経営能力向上を目的に、経営者層のためのマネジメントセミナーを開催し、8名の方が通して受講しました。

IT大学校

- プロジェクトマネジメント研修
 - ・プロジェクトマネジメント基礎実践講座
 - ・リスク管理講座
- ITコンサルタント養成研修
 - ・ソリューション提案講座
 - ・カウンセリング型提案講座
- ヒューマンスキル研修
 - ・ネゴシエーション講座
 - ・プロジェクトチームマネジメント研修
- プログラミング言語研修
 - ・C#. NET応用講座
 - ・JAVA応用講座

経営者層のためのマネジメントセミナー

- 経営戦略
- 人材マネジメント
- マーケティング戦略
- 財務分析

▶ Rubyビジネス支援

北九州市におけるRubyビジネスの拡大と人材育成を推進することを図り、「北九州 軽量Ruby活用推進セミナー」を開催しました。セミナーには市内企業7社が参加しました。また、Rubyビジネス・commons(RBC)が実施する勉強会の開催を支援しました。

前年度より福岡県が推進している組込み向けRubyの研究開発事業の推進会議にオブザーバとして参画しました。



北九州 軽量Ruby活用推進セミナー風景

▶ 北九州デジタルクリエイターコンテスト2012

地域のコンテンツクリエイターの発掘やコンテンツ産業の育成を目指して、第6回目となる北九州デジタルクリエイターコンテスト2012を開催し249点の作品の応募がありました。

最新技術3Dプロジェクションマッピングを使った作品「門司港駅におけるデジタル表現～ありがとう門司港駅」と、ほのぼのとした家族の絆を描いたアニメ「アルバム」の2本が特別賞となりました。

また今年の北九州漫画ミュージアムオープンを記念して、漫画ミュージアム賞を設定、北九州在住の漫画家山田圭子氏を審査員に招きました。この賞には「角島のヨビツカイ」が受賞し、デジタル技術を利用した作品手法と作品のムードなどが評価されました。

若い感性が良く表現された「Timespace」「KITAKYUSYU」「Hikers Run」など15点の作品が入賞となり、さらに15点の作品が入選となりました。

表彰式と展示会・記念講演を、3月17日に北九州国際会議場の国際会議室にて開催しました。「秘密結社の作り方 鷹の爪の野望」と題し、今絶好調のアニメ制作会社DLEの椎木隆太氏による貴重な話がクリエイターたちに向けて語られました。

今年度受賞作品は、ヒューマンメディア財団HPから閲覧できます。



特別賞「門司港駅におけるデジタル表現～ありがとう門司港駅」



特別賞「アルバム」

役員 [10名] (2012年6月26日現在)

代表理事

高橋 孝司 公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センター 理事長

理事

- 近藤 倫明 公立大学法人北九州市立大学 学長
- 庄司 裕一 北九州情報サービス産業振興協会 会長
- 塚本 寛 北九州工業高等専門学校 校長
- 永田 健次 北九州商工会議所 事務局長
- 西田 幸生 北九州市 産業経済局 企業立地支援・農林水産担当理事
- 廣瀬 香 社団法人九州経済連合会 総務部長
- 松永 守央 国立大学法人九州工業大学 学長

監事

- 鈴木 雅子 北九州市 会計室長
- 丸尾 俊文 日本テレコムインフォメーションサービス株式会社 代表取締役

賛助会員 [26団体] (2012年4月1日現在)

- 株式会社アクシス
- 株式会社エリアサービス
- 株式会社北九州銀行
- 北九州商工会議所
- 新日鉄ソリューションズ株式会社
- 新日本製鐵株式会社 八幡製鐵所
- 株式会社スピナ
- セイコーエプソン株式会社
- 株式会社ゼンリンデータコム ソリューション事業部
- ソニービジネスソリューション株式会社
- ソフトバンクテレコム株式会社
- 株式会社ソルネット
- データキューブ株式会社
- TOTO株式会社
- 西日本コンピュータ株式会社
- 株式会社西日本シティ銀行 北九州総本部
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 日本電気株式会社 北九州支店
- 株式会社ビーフロント
- ビズ・コレジオ株式会社
- 株式会社日立製作所 九州支社
- 富士通株式会社 九州支社
- 安川オピアス株式会社
- 安川情報システム株式会社
- 株式会社リンク
- 株式会社ワンビシアークイブズ 九州支店

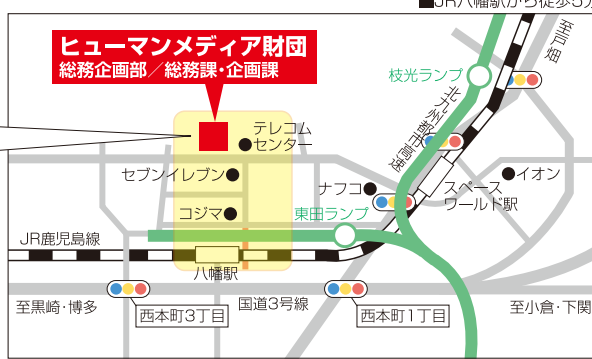
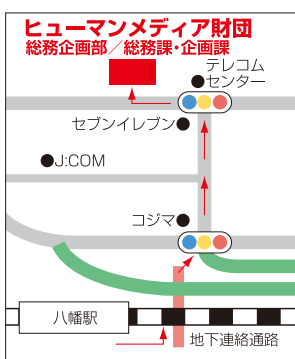
評議員 [8名] (2012年6月26日現在)

- 網岡 健司 新日本製鐵株式会社八幡製鐵所 総務部開発企画グループ部長
- 生山 武史 株式会社安川電機 人事総務部長
- 石丸 靖彦 TOTO株式会社 総務部長
- 尾家 祐二 九州インターネットプロジェクト 会長
- 下川 徹 株式会社高田工業所 取締役
- 戸上 勝喜 九州電力株式会社 執行役員北九州支社長
- 東 敏昭 産業医科大学 名誉教授 / (株)デンソー北九州製作所 経営管理部 産業医・理事
- 保村 英幸 西日本電信電話株式会社 北九州支店長

Access ● アクセス



●総務企画部 / 総務課・企画課
〒805-0071 北九州市八幡東区東田1丁目5番7号
TEL (093)663-2950 FAX (093)663-2955



●地域ICTプロジェクト推進課(EMサイト)
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号 AIMビル7F
TEL (093)512-8007 FAX (093)511-0801

